

2022年12月5日

「第71回全日本相撲選手権大会」で当社社員・三輪隼斗氏が 「優秀16選手決勝トーナメント」進出

このたび、12月4日に両国国技館で開催された「第71回全日本相撲選手権大会」（主催：公益財団法人日本相撲連盟）において、当社社員、三輪隼斗氏が「優秀16選手決勝トーナメント」進出の好成績をおさめましたことをお知らせします。

「全日本相撲選手権大会」は、アマチュア相撲の日本一を決定する歴史ある大会で、優勝者には、天皇杯、内閣総理大臣杯、文部科学大臣杯、日本相撲連盟会長杯、NHK杯、選手権章、優勝メダルなどが授与されるとともに、日本相撲連盟からアマチュア横綱の称号が贈られます。

なお、今回は新型コロナウイルス対策により、124名によるトーナメント戦で行われました。

三輪隼斗氏は、加賀事業所に勤務し、2019年4月に創部した相撲部に所属。同部は良き企業人の育成を目的に、部員は業務と両立しながら競技に取り組んでいます。創部1年目で全日本実業団相撲選手権大会団体2部優勝。全国社会人相撲大会、西日本実業団相撲大会で個人優勝も成し遂げるなど数々のタイトル獲得を成し遂げています。今年2022年7月に開催された「第51回 全国選抜社会人相撲選手権大会（内閣総理大臣杯）」においても、三輪隼斗氏が見事に個人優勝。さらに、個人戦で同じく当社社員の福嶋喜貴氏がベスト8、団体戦もベスト8と、今後の活躍が期待されます。

また、相撲部は地域の相撲教室で指導をするなど、相撲を通じた地域貢献も行っています。今後も各種大会で上位入賞を目指すと共に、相撲の普及・発展から青少年の指導・育成まで様々な活動に努めていきます。



「第71回全日本相撲選手権」での取り組みの様子（左が三輪隼斗氏）



今回の「第71回全日本相撲選手権大会」で行われた
同選手権大会通算10回出場を果たした5選手の表彰式の様子（一番右が三輪隼斗氏）